

機関投資家のための運用情報誌

## オル・イン

for All Institutional Investors



# オル・イン

for All Institutional Investors



## 日本随一の機関投資家向け「運用情報誌」

オル・インは2006年に創刊された機関投資家向け運用情報誌です。

株式・債券といった伝統資産はもちろん、ヘッジファンドやプライベートエクイティ、不動産といったオルタナティブもカバーしており、投資家の運用方針の参考情報として愛読されています。

その時々タイムリーなテーマを、客観的かつ独自の視点で編集企画しています。また、機関投資家の読者には無償配布するフリーペーパーモデルを採用しており、幅広く深いリーチを確保しています。

## AL-IN is a leading magazine specialized asset management information

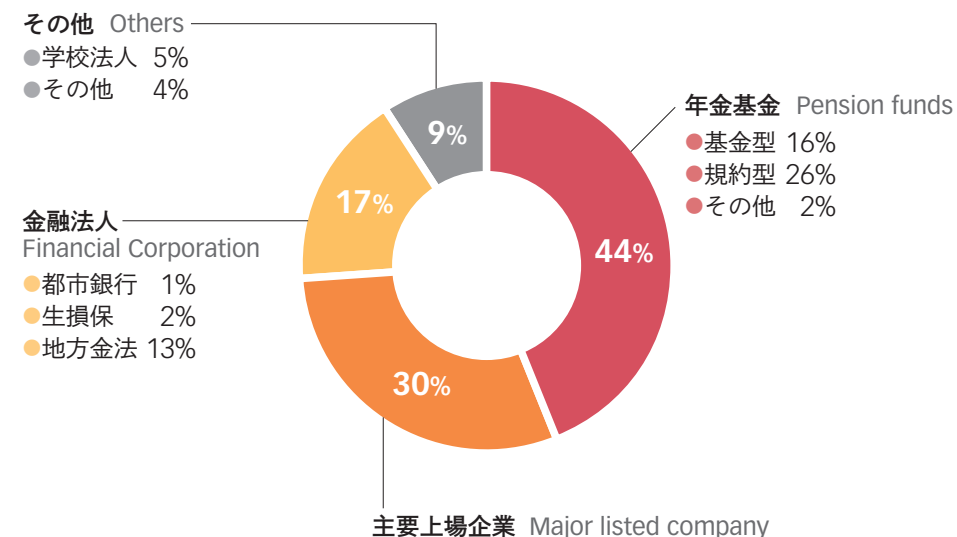
AL-IN, founded in 2006, is a leading magazine specialized asset management information for institutional investors.

AL-IN uniquely covers traditional asset classes such as equity and bond but also alternative asset, like HF, PE, real estate, infrastructure and others.

AL-IN compiles the latest and timely topics from its unique and objective point of view.

The magazine is delivered with free of charge to the institutional investors, pension funds and financial institutions.

発行部数 Number of copies printed	約6,500部 6500 copies
発行頻度 Frequency	季刊(3月/6月/9月/12月) quarterly
販売方法 Provide method	<p>アセットオーナーへは無償提供 Provided free of charge to asset owners</p> <p>オンライン Online Sales <a href="http://www.Fujisan.co.jp/al-in/">http://www.Fujisan.co.jp/al-in/</a></p> <p>丸善丸の内本店/日本橋店 Bookstore MARUZEN</p> <p>八重洲ブックセンター Yaesu-Book center</p>
創刊 First Published	2006年6月 June 2006
発行 Publisher	株式会社想研 SOKEN Inc.





# ニュー・プロップ

## for New-Proprietary Investors



### 日本で唯一の金融機関の自己運用部門向けメディア

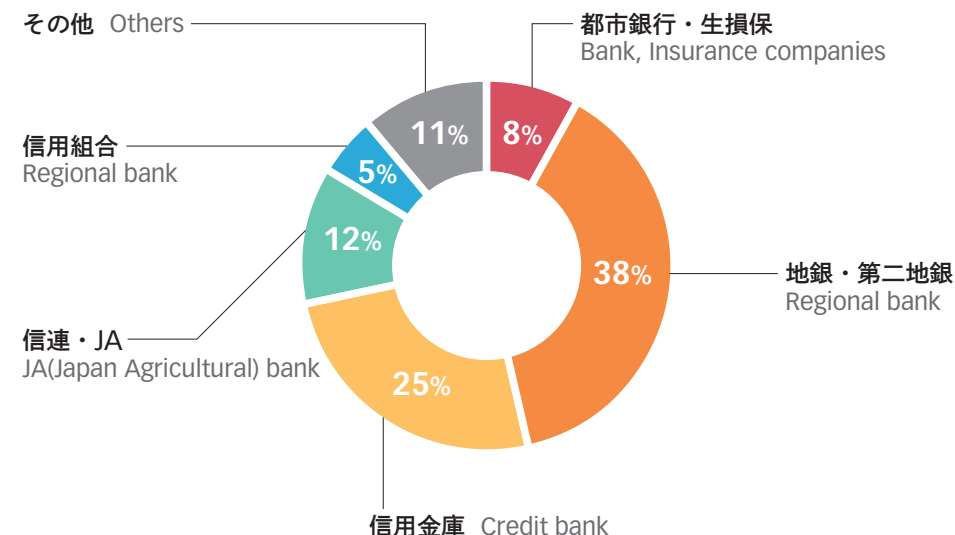
ニュー・プロップは2015年に創刊された地域金融機関向けの運用情報誌です。全国の地銀、信金などの運用部門、企画部門の方に愛読されています。前代未聞の「マイナス金利」環境のもと、JGBに代わる収益獲得のための最新運用アイデアを発信。金融機関ならではの運用方針、規制、資産クラスなどを意識した誌面作りをしています。適格機関投資家に限定して無償で配布しています。

発行部数	Number of copies printed	3,500部 3500 copies
発行頻度	Frequency	不定期(年2回程度) Half-yearly
販売方法	Provide method	適格機関投資家のみ提供 Only to qualified institutional investors
創刊	First Published	2015年4月 April 2015
発行	Publisher	株式会社想研 Soken Inc

自己資金運用部門を中心に配布。  
資金証券部、東京支店、経営企画、ALM、リスク管理、投資信託選定各部署、市場部門管掌の役員 など

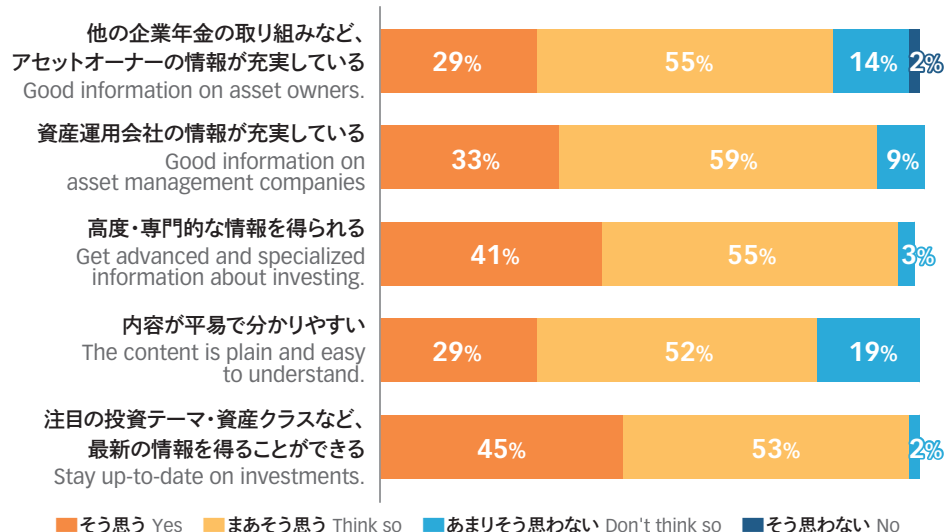
### NEW PROP is a specialized magazine for Japanese local banks.

NEW PROP, founded in 2015, is a specialized magazine for Japanese local banks. Main readership are investment managers work for local banks, credit unions etc. NEW PROP provides investment ideas to search for yield instead of JGB, under negative yield condition. The magazine is delivered with free of charge to the institutional investors.



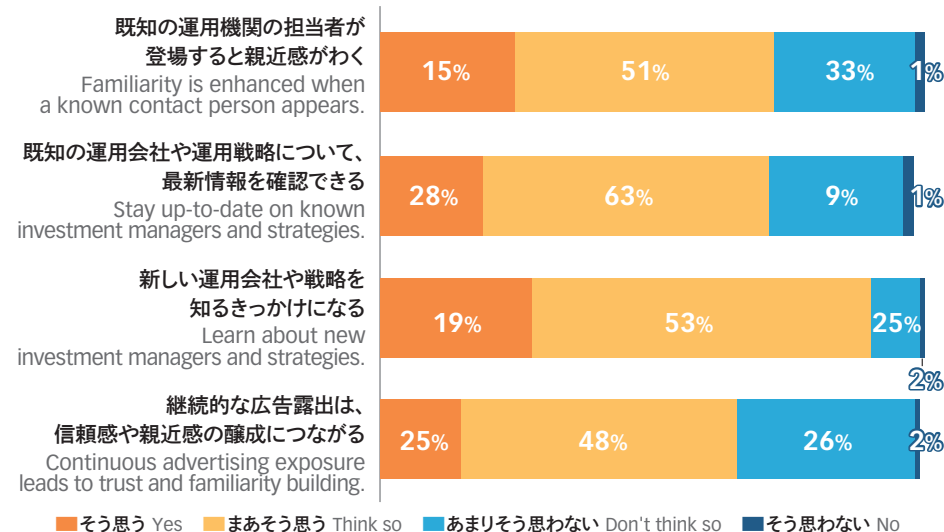
## 投資家から見たオル・インの印象

What is your impression of AI-In? (From asset owner)



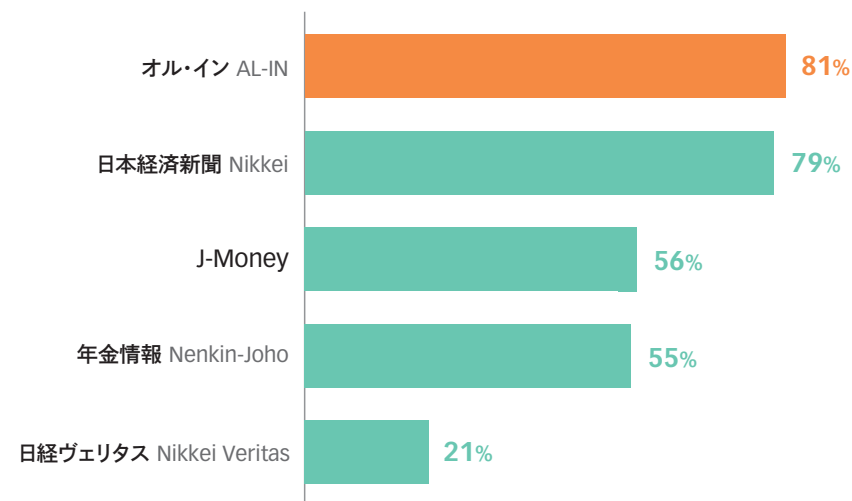
## 投資家から見たオル・インの誌面の印象

What is your impression of AI-In magazine? (From asset owner)



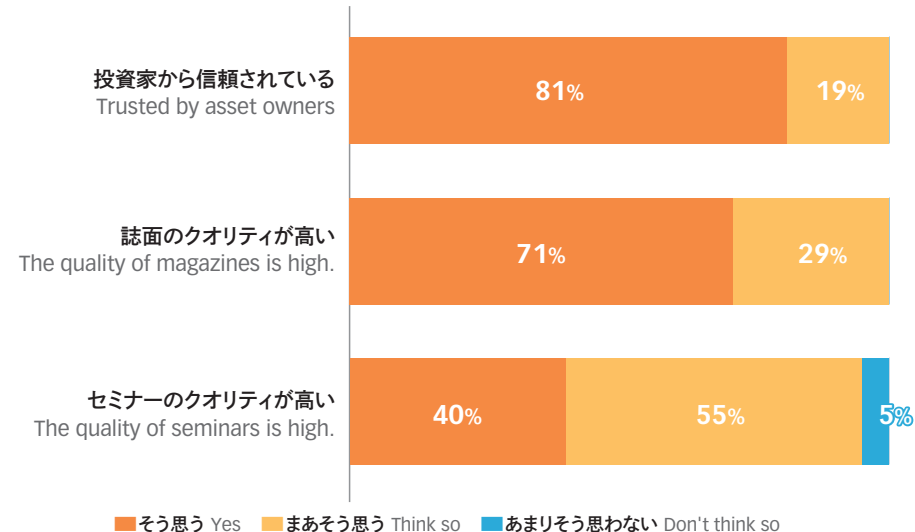
## 日頃の運用業務に関する情報源として活用しているメディア

From which media do you get your investment information?



## 運用会社から見たオル・インの印象

What is your impression of AI-In? (From asset manager)



## オル・インへのコメント (抜粋)

### Comments to AI-In

いつも、楽しみに愛読しています。今後ともよろしくお願いします。 (愛知県 企業年金)

運用についてはオル・インからの情報が大きな部分を占めています。今後とも誌面やセミナーでよろしくお願いいたします。 (兵庫県 企業年金)

運用会社と投資商品について広範に知りえる良い機会となっているので、引き続き新たな運用会社の商品などのご紹介をお願いしたい。 (東京都 企業年金)

オル・インの資産運用の直近トレンドなどに関する情報は大変参考になっています。 (東京都 企業年金)

## オル・インの広告をきっかけに プロダクトの検討をしたエピソード (抜粋)

### Episodes of product consideration triggered by an AI-In ad

採用検討時にオル・インの記事を思い出し、資産運用委員会に諮り採用に至ったことがある。 (大阪府 企業年金)

オル・インの記事を読んで、プライベートアセット戦略を実際に採用した。 (東京都 企業年金)

マルチアセットの戦略の新規採用検討時に、比較資料は大変参考になりました。 (大阪府 企業年金)

政策アセットミックスを見直す際に参考にした。 (愛知県 企業年金)

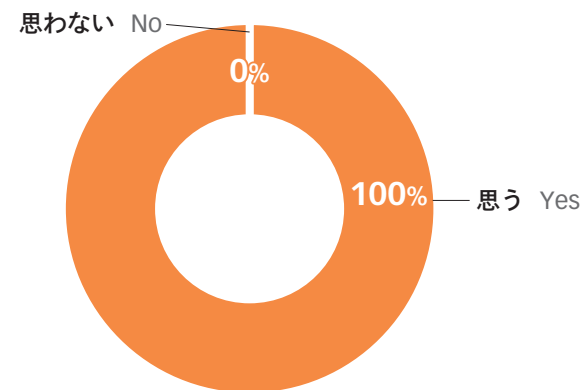
オル・インの記事をきっかけに、レバティバリュー戦略のファンドへの投資を検討した。 (埼玉県 企業年金)

ESG投資について検討を行った。 (福岡県 企業年金)

プライベートエクイティ、プライベートデット、インフラなどのプライベートアセットへの投資を検討する際にオル・インを参考にした。 (東京都 企業年金)

## 過去の出稿したことのある運用会社にかきました。 またオル・インに出稿したいと思いますか？

### Would you like to submit to AI-In again?



N=17

## 運用会社からのコメント (抜粋)

### Comments from asset manager

時間をかけて、丁寧に取材・制作されている。 (米系運用会社)

いつも非常にわかりやすくまとめている。 (欧州系運用会社)

広告のフィードバックをいただけるので参考になります。 (米系運用会社)

タイムリーな話題について、ライトパーソンが執筆している。 (米系運用会社)

その時々において投資家の関心度の高いトピックを選ばれていて、運用者側としても興味深く拝見している。これからも適宜広告利用を検討したい。 (米系運用会社)

年金プロダクト需給調査などの企画は他になく、面白いと思う。特集にリンクした商品で出稿できるよう、引き続き特集の計画などをお知らせいただけるとありがたい。 (欧州系運用会社)

誌面広告は記事体広告も質が高い。誌面広告は通常効果測定が難しいなか、読者アンケートは貴重なので、さらに充実させてほしい。今後は、デジタル化が進むことを睨んで、オンライン上でも実績を作ってほしい。 (欧州系運用会社)

## ▶ 純広告 Pure advertisement

ブランドイメージや知名度の向上に効果的です

表2見開き Inside front double spread	¥2,000,000
第二表2見開き Second inside front cover double spread	¥1,800,000
目次対向 Contents opposite full page	¥1,000,000
表3 Inside back cover full page	¥1,000,000
中面 1P Full page	¥700,000
中面 2P 2 pages	¥1,400,000

(税別)



純広告(例)

## ▶ 記事広告 Advertorial

- 弊社スタッフが取材を行い、記事形式の広告を作成
- 運用戦略や体制のアピールに効果的です

4P Advertorial 4P	¥2,200,000
3P+純広告1P Advertorial 3P + full page ad page	¥2,200,000
2P Advertorial 2P	¥1,800,000

(税別)



記事広告(例)

## ▶ 記事風純広告 Article-style pure advertisement

- 取材費、制作費、二次利用料込み
- 規定フォーマットにとらわれず自由な表現が可能です

4P Advertorial 4P	¥2,600,000
2P Advertorial 2P	¥2,300,000

(税別)



記事風純広告(例)



▶ 読者アンケートフィードバック Reader Survey Feedback

出稿頂いた広告について、読者からの評価やコメントをご報告します

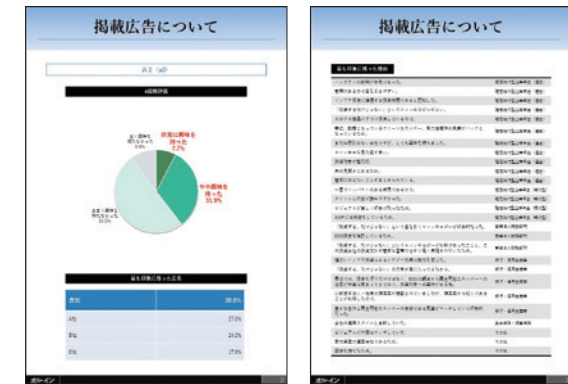
出稿料金に含まれています Included by Ad

## ▶ 二次利用 Secondary Use

オル・インに出稿頂いた記事広告を貴社Webサイトなどに掲載することが出来ます

料金 Fee	¥200,000 ※期間の定め無し
--------	-------------------

(税別)



### アンケートのフィードバック(例)

▶ 抜き刷り Offprint

オル・インに出稿頂いた記事広告をリプリントしてご提供します

部数    copies	4 pages	6 pages
100 部	¥130,000	¥160,000
200 部	¥150,000	¥190,000
300 部	¥170,000	¥220,000
500 部	¥195,000	¥240,000
1,000 部	¥220,000	¥290,000

(税別)



### 抜き刷り(例)

▶ リアル・デジタル・ハイブリッドプラン Magazine and digital

- オル・インによるコンテンツ制作を先行し、データで納品
- オル・イン誌の発行を待つことなく、webサイトへの掲載、メールでの配布、資料への組み込みなどが可能
- オル・インwebにも掲載

メンバーシップ会員料金 Member's fee	一般料金 General fee
¥200,000	¥400,000

(税別)



リアル・デジタル・ハイブリッドプラン(例)

# オル・イン セミナー

for All Institutional Investors Seminar



## 高い集客力を誇る機関投資家向けセミナー

『オル・イン』では年に数回、東京や大阪などで機関投資家向けセミナーを開催しています。

毎回、多くの投資家にご来場いただき、皆さまから高い評価をいただいております。プレゼンやパネルディスカッションへの登壇のほか、プログラム間のネットワーキングや懇親会で、投資家と親睦を深めて頂くことが可能です。

実施後は、参加者アンケートを取りまとめてご報告致します。また、セミナーの様様をオル・インWebに動画や記事として掲載することで、デジタルマーケティングにもつながります。

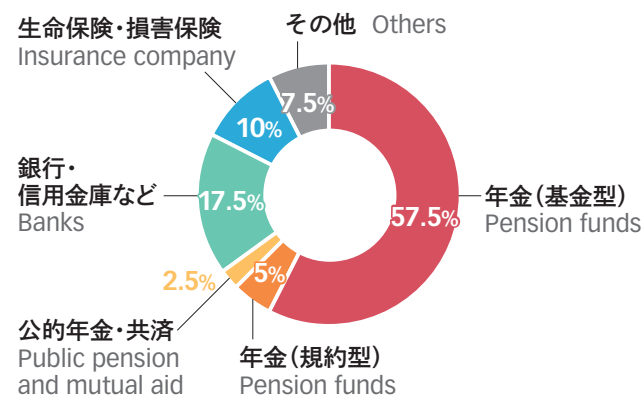
## A seminar for institutional investors that boasts a high turnout

Several times a year, AI-In holds seminars for institutional investors in Tokyo and Osaka.

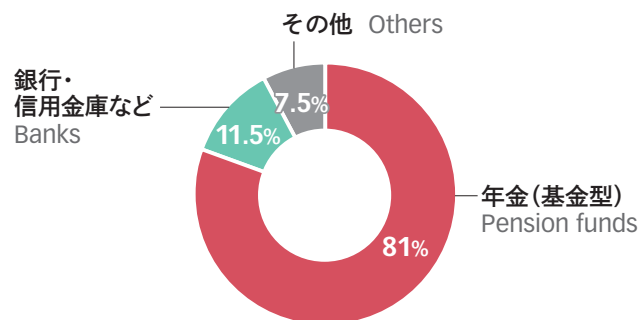
The seminars are always well received by the many asset owners who attend. In addition to participating in presentations and panel discussions, participants are able to deepen their relationships with investors through networking and social gatherings between programs.

After the seminar, we will compile a participant survey and report it to you. The seminar will be posted on the AI-In Web as a video and article. It will also lead to digital marketing.

東京 参加者割合 (例)  
Participants in Tokyo



大阪 参加者割合 (例)  
Participants in Osaka

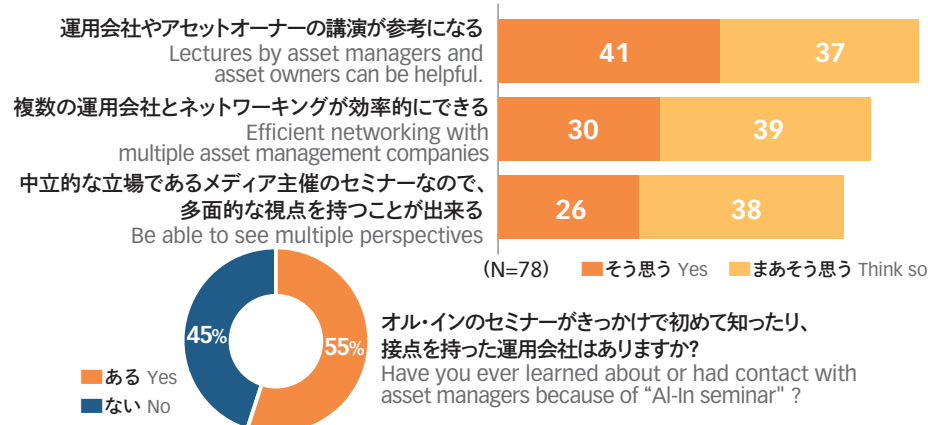


セミナー実施報告書



## 投資家から見たオル・イン セミナーへの印象

What is your impression of Seminars AI-In host?



## 投資家からのコメント (抜粋)

Comments from asset owners

「こんな運用戦略があったのか」「こんな運用を得意とする運用会社があったのか」「講演された運用戦略を採用したらどのような効果があるのか?」このようなことを考えながら、セミナーに出席しております。他基金の近況を聞いたり、運用手法についての議論などさまざまな情報収集ができ、非常に有益なセミナーです。開催日が公開されしだい参加申込をしております。(大阪府 企業年金)

時間が許す限り参加させていただいております。弊基金は資産規模が小さいので普段聞けないような運用会社から、有益な情報を聞けて幸いです。(東京都 企業年金)

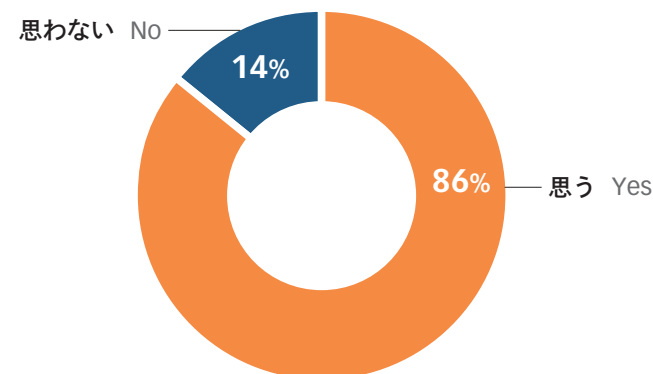
会場で名刺交換をして、後日連絡を貰って以来接点を保っています。(群馬県 企業年金)

運用会社とのフランクな意見交換が役に立ちました。(東京都 企業年金)

自分たちが採用していない戦略を知る良い機会になりました。また、先進的な取り組みをされている他基金の事例も参考になりました。(東京都 企業年金)

## セミナーに協賛頂いたことのある運用会社にききました。 また協賛したいと思いますか?

Would you like to sponsor AI-In seminar again?



N=14

## 運用会社からのコメント (抜粋)

Comments from asset managers

セミナーの段取り、構成、さまざまな形式への対応など、いつも高品質で助かっています。コロナ禍においても感染拡大対策をしっかりとされた上でリアルセミナーを敢行されるなど、さすがだと思いました。(米系運用会社)

「参加者との距離の近さ」と「スポンサーのプレゼンテーションの自由度の高さ」の2点が魅力です。(米系運用会社)

弊社のような小規模の運用会社にとっては集客などが魅力的です。(米系運用会社)

投資家と直接コンタクトがとれる貴重な場、また宣伝機会としてやりがいがあるものでした。オル・インのセミナーは、投資家からの信頼度も高いことは確認できており、間接的な影響度合いも加味して、他の会社のセミナーとは一味違う選択肢と認識しています。(米系運用会社)

オル・インのセミナーには何度か協賛させて頂いており、投資家との接点を構築するうえで非常に有益だと考えています。(米系運用会社)

年金基金との関係構築の有効な機会と捉えています。(欧州系運用会社)

協賛内容 Sponsorship Details	プラチナ協賛 Platinum Sponsorship	ゴールド協賛 Gold Sponsorship
協賛費(例) Sponsorship fee ※懇親会有無などで変動します	Tokyo ¥2,000,000 Osaka ¥1,700,000	Tokyo ¥400,000 Osaka ¥200,000
ダイレクトメール、当日配布資料への社名・ロゴの掲載 Insertion Company name and logo	○	○
セミナー登壇 Presentation (1社あたり30分)	○	—
懇親会などネットワーキング Networking	○	○
ブース設置 Booth	○	—
資料同梱 Include materials in the package.	○	○
セミナーへの参加人数 Participants	5名まで Up to 5 people	1名まで Only 1 person
申込者の個人情報の提供 ※許諾分のみ Asset owner's contact information	○	—
オル・インへのダイジェスト掲載、Webへの動画掲載 Reprinted in the magazine and web	○	—

※料金・協賛内容はイベントによって異なります

## ▶ ポイント



# オル・イン Web

for All Institutional Investors Web service



## 運用会社と投資家をつなぐ会員制Webサイト

『オル・イン』は2020年秋にWebサイトをリニューアル。運用会社と機関投資家が利用できる、コミュニケーションプラットフォームになりました。

貴社のイベントやレポートなどの情報を機関投資家に届けられるほか、「オル・イン」が実施するユニークなアンケート・調査の結果レポートをご覧頂くことが出来ます。

また、誌面とWebを連動させることでアナログとデジタル双方で効率的に発信を行うことが可能です。

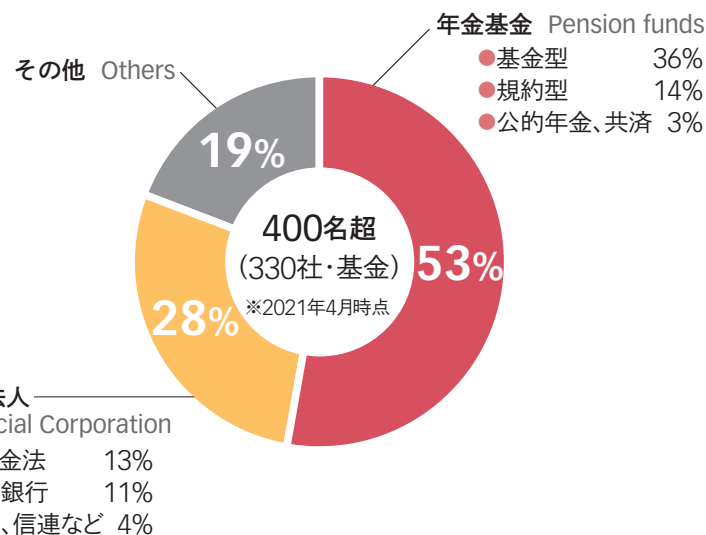
## A membership website that connects asset managers and asset owners.

In the 2020, We renewed our website. It's now a communication platform that can be used by both asset managers and asset owners.

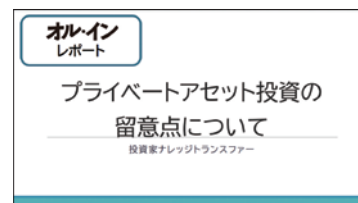
You can provide asset owners with information on your events and reports, and be able to view reports on the results of unique reports conducted by AI-In.

In addition, by linking the magazine to the Web, you can efficiently communicate both analog and digital information.

### オル・インWeb 会員投資家の属性 Attributes of Web Members



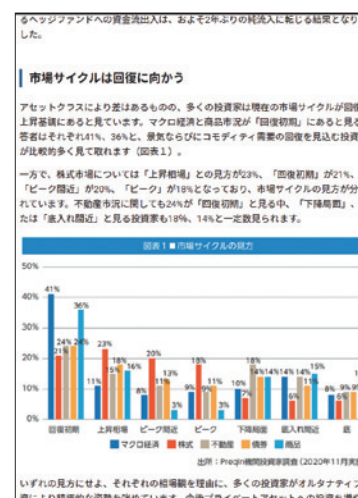
Events



Reports



Seminar videos



Articles



## オル・イン メンバーシップのメリット

オル・インWebへの  
セミナー・ウェビナー情報の  
掲載およびメルマガによって  
得られる集客サポート

オル・インWebへ  
レポートを投稿することで  
得られる幅広いリーチ

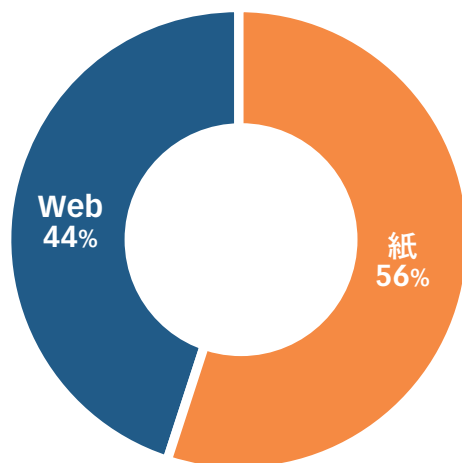
オル・イン オリジナルレポート、  
投資家アンケートなどで  
得られる最新の投資家の情報

オル・イン出稿時の  
リアル・デジタル・ハイブリッド  
プランにおける優遇

※オル・インWebは、機関投資家や運用会社が利用できる会員制Webサイトです。URL≫<https://al-in.jp/>

料金 Annual Membership Fee	¥180,000/年 (税別)
-----------------------------	--------------------

### 機関投資家が情報収集で主に利用する媒体



オル・インでは独自に、『機関投資家が情報収集に利用しているのは紙とWebどちらの媒体なのか?』調査を行いました。その結果は拮抗しており、片方だけでは不十分であることを伺うことができました。

紙・Web双方で機関投資家へアプローチできるオル・インをぜひご利用ください。

## オル・イン メンバーシップ 3カ月間のフリートライアル受付中!

フリートライアルは、原則1社につき1回までです

TRY NOW!

### ▶ フリートライアル期間 3カ月間

- お申込み月の末日から起算して、3カ月間ご利用頂けます。  
(例 2021年1月中のお申込みの場合、2021年4月末まで)
- 期間終了後は別途お申込みを頂いた場合に限り、ご継続とします。自動で料金が発生することはありません。

### ▶ 有料会員と変わらぬ機能をご利用頂けます

セミナー  
(ウェビナー)  
告知

セミナー  
(ウェビナー)  
集客サポート  
(メール通知)

リリース投稿

オル・インアンケートレポートや  
セミナー動画など、  
オリジナルコンテンツの視聴

### ▶ フリートライアル お申込み方法

営業担当者または [alin\\_web@al-in.jp](mailto:alin_web@al-in.jp) へフリートライアルご利用希望の旨、ご連絡ください。

会員登録用フォーマットをお送り致します。フォーマットをお送り頂いてから、3営業日以内にログイン方法と操作マニュアルをご案内します。

